

朝礼 校長講話（11月6日）

明日は「立冬」です。漢字で「冬に立つ」と書きます。暦の上ではもう冬に入ります。実際に、朝夕はずいぶん冷えるようになってきました。日中は日差しがあればまだそんなに寒くないのですが、その分、一日の温度差が一番大きい時期でもあります。そのために体調を崩す人が多いのもこの時期です。先週、朝礼で多くの子が咳をしているという話をしましたが、今日はそんなに多くはないようです。きっと多くの子がマスクをしたりうがいをしたりという予防をしてくれたのだと思いますし、中にはお医者さんに診てもらった人もいます。これから、どんどん寒くなっていきます。体調管理に気をつけてください。

さて、皆さんは他の学校の中学生在がどんなふうに通学しているのか見る機会はありませんが、先生たちは時々、よその学校の授業を見ることがあります。そして、見るたびに、「弥富中の授業はいいな」と思います。

何が、いいのかというと、授業の中で隣どうしや班の子たちと話し合う場面が多くあるということです。自分の意見を言ったり、他の子の意見を聞くことは、自分の考えを広げたり深めたりすることができます。一人の人に与えられた時間は24時間です。一人の人が一日に動ける範囲も1万歩とか、それぐらいです。一人の子が自分の人生の中で経験できることって、そんなに多くありません。でも、友だちから、「昨日、私、こんなことをしたよ」と聞いたり、「僕、どこどこへ行ってきて、すごくよかったよ」という話を聞くと、それだけで自分の考えや視野が広がります。自分以外の周りの人から学ぶということは、とても大切だと思います。

そんな機会が、今週、1年生、2年生にあります。1年生は明日、「福祉実践教室」を行います。障害をもった方々や社会的に弱い立場の方々に学校においていただき、直接、話をうかがうことができます。2年生は、広島へ出かけ、言葉は知っていてもあまり深く考えたことのない「戦争」や「原子爆弾」について考えます。ぜひ、そこで見たこと、聞いたことをしっかり心に刻んで、これからの自分自身の生き方に役立ててほしいと思います。3年生は、1、2年生のような大きな行事ではありませんが、今、卒業アルバムの写真を撮っています。3年間この中学校で学んできたこと、ここで成長した自分をどのような姿で残していくか考えてほしいと思います。

そして、それらを経験したみなさんがどう成長していくのか、それを見ていきたいと思っています。